

によど川

仁淀川町広報

2008
10月号

年輪く敬老の日・金婚式く
大学生ふるさとで社会福祉実習
集落見聞録へ岩屋く

平成19年度一般会計決算



いつまでもお元気で…9月15日は敬老の日 町内最高齢者は大野勝既さん(105歳)



105歳とは思えないお元気な大野勝既さん。手にした鉢植えは、敬老の日にお孫さんから送られたものです

大野勝既さん（下北川）は明治三十六年二月十二日生まれ。補聴器が必要になったのと、神経痛がある以外はとてもお元気で、月に一度往診にみえるお医者さんからも、血圧、脈拍とも正常といわれているそうです。

食事は朝晩の二回、庭先を散歩したり、時には一人でお風呂に入ったり、テレビで好きな相撲やプロ野球を見たりする毎日を送られています。

九十九歳まで近くの茶畑で作業をし、百歳まで一人で生活していたという大野さん。同居している息子の松吉さんご夫婦は「町内で一番ですか？代々長生きの家系ですが、それにしても百五歳という年齢は信じられませんね」と話していました。

これからも県内一、日本一の最高齢を目指して、お元気で過ごしてください。

8月末現在、町の人口7,245人のうち、70歳以上の方は2,804人。長年社会に貢献してきたお年寄りを敬愛し長寿をお祝いしようと、各地区で敬老会が開かれました。

各地区とも、趣向を凝らした余興や豪華なごちそうでお年寄りをもてなし、会場は終始笑いの絶えない、楽しい雰囲気になりました。

各地区で長寿を祝う敬老会





祝金婚

共に歩んだ
半世紀

第五十一回金婚夫婦祝福式典（主催・高知新聞社、RKC高知放送ほか）が九月一日、高知市の三翠園で行われ、町からも十二組のご夫婦が出席されました。

式典では最初に大型スクリーンで半世紀の出来事が写真や映像で紹介されました。出席者は懐かしい映像などに、二人の思い出や歴史を重ね合わせるように穏やかな表情で見入っていました。

続いて尾崎正直知事らの祝辞、参加夫婦代表の謝辞などがあり式典は終了しました。その後、記念撮影。晴れ晴れとした表情の写真は、ご夫婦の宝物の一つに加わりました。



今年の金婚夫婦は昭和三十三年に結婚された方々です。インスタントラーメン第一号のチキンラーメンが発売され、プロ野球では長嶋茂雄選手が新人王を獲得、高知市内には県内初のスーパーマーケットが開店し、NHK高知放送局がテレビ放送を開始したのもこの年です。

町内では上仁淀橋が開通、寺村橋の架け替え、南米パラグアイへの第一次移民の渡航開始などの出来事がありました。

出席された12組のご夫婦

赤井澤義雄・やい	（西古城山）
井上 輝美・國子	（大崎）
小野 善秀・嘉壽子	（竹谷）
片岡 昇一・和榮	（蕨谷）
片岡 成果・富士子	（正ノ石）
片岡 守雄・須磨	（上屋敷）
川村欽之助・房子	（上土居第二）
黒川 輝夫・春子	（宗津）
酒井 義清・絹代	（安居土居）
隅田 春利・菊子	（宗津）
藤原 佐義・安子	（別枝中村）
山本謙次郎・三恵	（正ノ石）



ふるさとで社会福祉実習 長者出身の 大学4年生

みま さか
美作大学(岡山県)4年生の西村亮一さんが、大学の社会福祉教育の一環として町包括支援センターで実習を行いました。



西村さんは長者出身。大学卒業後は、仁淀川町で福祉の仕事に就くことを希望しています。8月初旬から約4週間にわたって行った実習の間に感じたことを報告してくれました。

このたび、社会福祉士の受験資格を取得するために仁淀川町の地域包括支援センターで実習をさせていただきました。社会福祉士というのは生活に困っている人などから相談を受けて、一緒に問題を解決していく相談職です。

町は高齢化が進行し人口の約半分が高齢者となり、若い人たちは町外へ流出しています。若者は帰ってこようにも就職する場がない、また帰ってくる気がない人もいるのではないのでしょうか。数年後、仁淀高校が廃校となり、さらに少子化が進行し地域の高齢化や衰退が進行するのではないかと危惧(きぐ)しています。

町の行政・住民が協力し、若者が帰ってこられる町・帰って来たいと思えるような町づくりを行う

い、町が今後も存続していけるようにしていく必要があるのではないかと考えています。
町に住んでいたころは、町の大体のことを分かっているつもりでしたが、大学に進学し外からの視点で町の研究を進める中で、素晴らしい自然、温かい人たち、先人たちが築いてきた歴史・文化・祭りなどを知ることができました。それと同時に、町のことをもっと知りたいと思いました。
今の若者は、東京や大阪などの大都会にあって、地方を離れていく人が多いです。就職先が少ないためそれを悪いとはいえませんが、一度立ち止まり後ろを振り返ってもう一度地元のことを考えることも必要ではないでしょうか。



町職員(右から2人目)と一緒に高齢者宅を訪れ、生活状況を聞き取る西村さん

高吾北消防署の「New Face」!

4月に消防学校へ入校し、6カ月間の初任教育課程を修了、消防士としての基礎実技と学術および厳正な規律とおう盛な士気、体力を身につけた2人を紹介します。2人は10月から高吾北消防署(越知町)で勤務につきます。



はたけなか ひろ ふみ
畠中 宏文 (26)

町民の皆様が安心して暮らしていけるよう精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いします。



よし おか ゆう
吉岡 憂 (21)

町民の皆様信頼されるような消防士になれるよう日々訓練に励んでいきたいと思ひます。よろしくお願いします。

問い合わせ・病院紹介 ◆高吾北消防署 ☎26・2111 ◆仁淀川分署 ☎35・0017

地域ぐるみで防災意識を高めよう!

自主防災組織の設立を

今後三十年以内に五〇%、五十年以内には九〇%の確立で発生するといわれている南海地震や、台風、集中豪雨などによる大規模災害に備え、町では自分たちの地域を守るために活動する自主防災組織の設立を勧めています。

なぜ組織が必要なの?

もし、私たちの住む地域で大規模な災害が発生したらどうなるでしょうか?

各地で建物の倒壊や火災が発生し、電話が不通となり、道路や水道などが寸断され、防災関係機関の活動は著しく制限されるのが予想されます。

こうした状況の中で住民は「自



分たちの地域は自分たちで守る」という信念と連帯意識を持ち、

初期消火、情報の収集伝達、避難誘導、被災者の救出、応急手当、給食・給水など自主防災活動を行うことが必要です。

災害に対して地域で取り組む「自主防災組織」の設立について考えてみませんか。

どのような活動をするの?

日ごろは防災備蓄物資の整備や情報収集・連絡体制の整備を行うとともに、災害を想定した地域防災訓練や救命講習の実施など、防災意識を深める活動を行っています。

災害が発生したときには、初期消火や被災者の救出など具体的な防災活動を行います。

町内の組織設立状況は?

現在、町内十地区が自主防災組織を設立しています。(別表)

しかし、この地区数は町全体の約二割とまだまだ低い状況で

す。町では本年度末までに、五割の地区が組織を設立することを目指し、各地区で説明会や防災学習会などを実施しています。お住まいの地区で行われる際には積極的な参加をお願いします。また自主防災組織について関心のある地区は、お気軽にお問い合わせください。

本庁総務課 ☎35・0111

池川総合支所住民課 ☎34・2111

仁淀総合支所住民課 ☎32・1111

南海地震想定し防災訓練 住民ら1000人参加

8月31日、南海地震(マグニチュード8.4、震度5強)を想定した防災訓練が町内3地区(寺村・上土居・森)を中心に行われました。

この訓練は県内全域で行われる防災訓練に合わせて実施されたもので、本町でも一般住民、消防団のほか女性防火クラブ、自主防災組織など総勢約1000人が参加しました。

訓練では地震発生後の住民の避難、炊き出し、初期消火、応急処置などのほか、消防団による救助訓練、小型ポンプを中継しての消火訓練などが行われ、参加者は本番さながらに真剣な表情で取り組んでいました。



自主防災組織設立状況

組織名	設立年月
ハイツ清流団地防災会	平成11年10月
第1区防災会	平成12年9月
日浦地区防災会	平成13年2月
安居地区防災会	平成13年4月
用居地区防災会	平成13年4月
森山地区自主防災組織	平成18年9月
久喜地区自主防災会	平成19年10月
長者地区自主防災組織	平成20年2月
大崎地区自主防災会	平成20年3月
寺村地区自主防災組織	平成20年8月